

## 第 1 回 加茂川総合内水対策協議会 議事録要旨

日 時：平成 24 年 2 月 29 日（水）13:30～14:30

場 所：美濃加茂市役所本庁舎 3 階第一議会委員会室

出席者：美濃加茂市）渡辺直由市長、伊藤秀樹総務部長、丹羽英治技術総括部長  
坂祝町）南山宗之町長、三品智裕総務課長、小関昇産業建設課長  
国）工藤啓木曾川上流河川事務所長、小林敬司木曾川上流河川事務所副所長  
県）名張誠岐阜県河川課技術管理監（課長代理）、河合成司可茂土木事務所長  
民）三品正行深田一自治会長、北村康廣酒倉連合自治会長、

協議事項：1. 加茂川総合内水対策協議会規約（案）について  
2. 台風 15 号豪雨災害被害の浸水被害状況について  
3. 総合内水対策緊急事業の概要について

### 1. 加茂川総合内水対策協議会規約（案）について

美濃加茂市都市計画課長は、当協議会を発足するにあたり事務局で作成した当協議会規約の案について説明し、その内容について慎重審議の結果、全員一致をもって規約を承認可決した。

### 2. 台風 15 号豪雨災害被害の浸水被害状況について

美濃加茂市都市計画課都市計画係長は、昨年 9 月の台風 15 号の浸水被害状況について説明した。

### 3. 総合内水対策緊急事業の概要について

国土交通省中部地方整備局木曾川上流河川事務所調査課長は、総合内水対策緊急事業の概要について説明し、その内容について委員から次のような意見が出た。

#### 【深田一自治会長】

排水ポンプの計画容量 25m<sup>3</sup>/s に対して現状の容量が少ないのは大きな問題である。  
床上床下浸水などの家屋被害だけでなく、農地も大きな被害を受けている。  
排水能力をあげること、ポンプを早急に増設することが一番の課題である。

#### 【酒倉連合自治会長】

加茂川の氾濫の原因は木曾川からの逆流である。加茂川への対策と同様、木曾川の整備も重要である。

**【坂祝町長】**

これまで開発を優先させてきた点は、我々も反省すべき点である。

排水ポンプの増設だけでなく、地域としての努力も重要である。

国、県、市町においては予算の問題があり、すぐに何ができるということが言えず、被害にあわれた住民の皆様には大変申し訳ないが、早急に計画を立てていきたい。

木曽川については、かつて中河原と呼ばれる箇所を掘り下げる予定があったものを再度検討してもらいたい。

**【美濃加茂市長】**

加茂川と木曽川の一体的な対策ができてはじめて、この地域の本当の意味での安全対策になる。

当市は木曽川と飛騨川の合流点に位置しており、この2つの川の流量調節が当市から下流の地域にとっても重要であり、現在事業凍結されている新丸山ダムの果たす役割は大変大きなものである。

この点についても、国、県のご支援をいただきたい。

**【木曽川上流河川事務所長】**

内水対策は、ハード対策だけではなかなか被害がなくなる。

排水ポンプを増設しても土地利用規制等をしなければ、浸水被害を解消できないことから、ハードとソフトの両方の対策を組み合わせた総合的な計画を作る必要がある。